

大地



すすんで学ぶ子 仲よく助け合う子
ねばり強くやりとげる子 明るく元気な子

「早寝・早起き・朝ごはん」に家庭学習を

TEL 377-7000 FAX 377-7520

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

校長 高秀 愛司

4月19日（火）に実施いたしました「平成28年度全国学力学習状況調査」の結果が道教委から公表され、6学年の保護者の皆様には、10月6日（木）付けでお知らせ文書とともに「個人票」を配付いたしました。

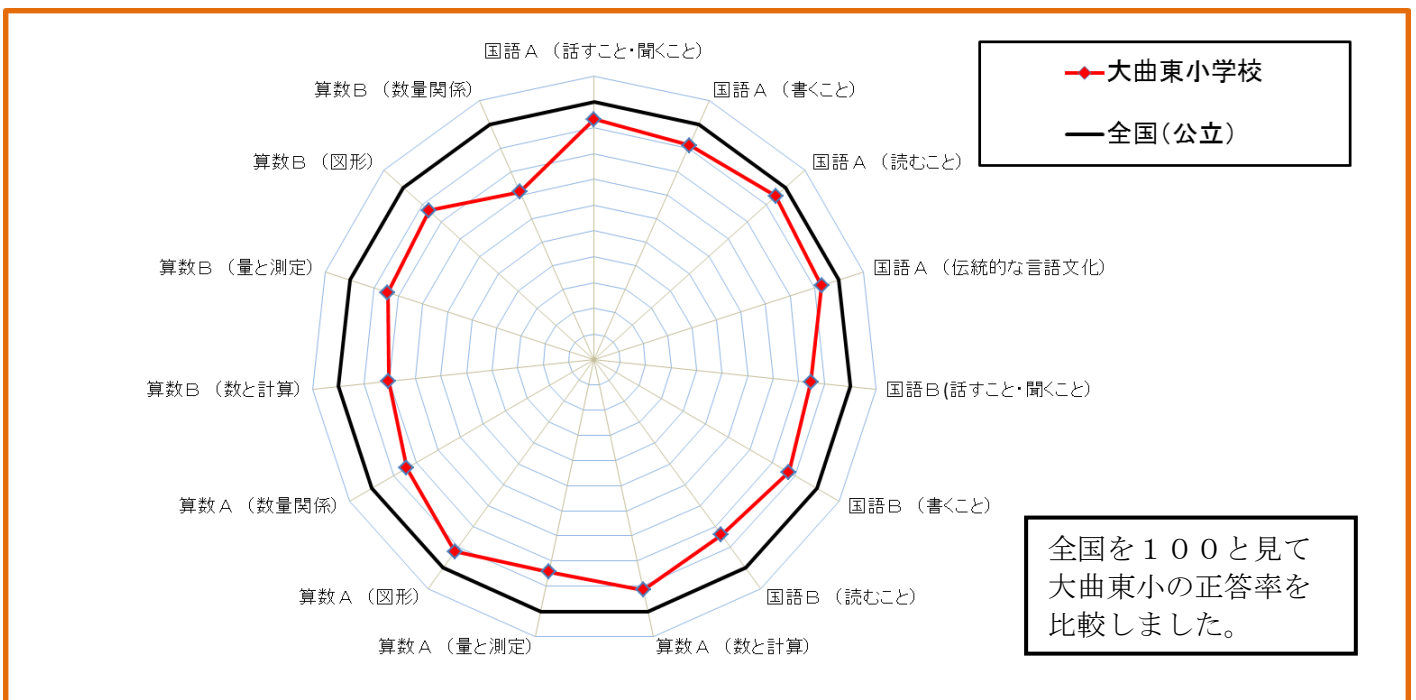
学力調査からうかがえる本校におけるおおよその傾向をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、今後の本校児童の学力がさらに向上するよう職員一丸となって指導工夫改善に努めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様にも今後も一層のご理解を賜りたく、よろしくお願ひします。

なお不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。

【本校の現状と課題】

全国正答率と本校正答率の比較

国語 A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、やや低い状況です。
国語 B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、低い状況です。
算数 A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、低い状況です。
算数 B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、低い状況です。



☆国語ABの結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと（「貯金」の読みは全員正解でした）
- ・地図やパンフレットから情報を組み合わせて読み取り場所を選ぶこと
- ・話し合いの様子から説明として適切なものを選ぶこと
- ・書写の作品を見比べて、どのような点に注意して書いているかを選ぶこと

☆算数ABの結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・繰り下がりのある減法の計算をすること
- ・分数の乗法の計算をし、約分すること。例として $(2/9) \times 3$ のような計算です
- ・二つの数の大小関係を表す不等号を書くこと
- ・1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えを出すこと。

●誤答や無解答が多く、今後強化していきたい項目

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと
- ・平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読むこと
- ・目的に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながらかくこと

●誤答や無解答が多く、今後強化していきたい項目

- ・小数の除法の計算をすること。例として $18 \div 0.9$ のような計算です
- ・全体の大きさに対する部分の大きさを割合で表すこと
- ・数の関係を式に表すこと

「学力学習状況調査（児童質問紙）」における学力向上に関連すると思われる項目

【生活に関連して】

- 生活の基盤となる食事や睡眠について、安定したリズムの中で生活している様子がうかがえます。
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童の割合が高くなっています。
- テレビゲーム（コンピュータ型・携帯型）利用時間が、長い傾向にあり、3時間以上の児童は全体の30%になります。今年度に限ったことではなく、毎年同じ傾向があり課題となっています。
- 多くの児童が、自分とは異なる意見をもっと生かしたり、折り合いをつけたりして話し合う必要があると感じています。

【学習に関連して】

- 家で授業の復習をしている割合が、全国の平均よりも高くなっています。
- 原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思っている児童の割合が少ない傾向となっています。
- 平日に読書をする時間が全国の平均よりも短くなっています。
- 自分の意見を発表するときに、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している児童の割合が低くなっています。

学力向上に向けた今後の取組

1. 教師の授業力を向上し、分かりやすい授業づくりを目指します。

- ・日常的な教材研究を通して、分かりやすい授業づくりを進めていきます。
- ・学力向上につながる実践事例交流等を通して、指導改善を進めていきます。

2. 基礎的、基本的な学習内容の確実な習得を目指します。

- ・パワーアップタイム(PUT)や放課後活動日を活用し、補充的な学習を充実させたり、習熟度別少人数学習の充実させたりします。

3. 学習の基盤になる力の育成に力を入れていきます。

- ・家庭学習ノートの紹介や、家庭学習強化週間を大曲地区で設定するなど、家庭学習の習慣化につながる取組を進めていきます。
- ・1階ホールを日常的に活用し、体をリフレッシュさせ集中して学習に取り組める環境づくりを進めます。
- ・近隣校や中学校と連携しながら「大曲スタンダード」の意識化を進め、本校でも「きらり！東小の子～学びの7ヶ条～」の定着を図る指導を進めます。

4. 全教育活動で道徳教育を推進し、認め合い高め合う学校づくりを目指します。

- ・自己有用感を高める活動（玄関ホール掲示板を活用した「きらり！東小の子」の紹介）を推進します。
- ・道徳科の本格実施に向けた授業づくりを進めていきます。

5. 学校の取組の情報発信に力を入れていきます。

- ・学校便り、ホームページ等の情報発信力を高め、家庭と連携した取組を進めていきます。
- ・学年通信での「家庭学習ヒントコーナー」を継続し、児童の自立した学習をサポートする取組を進めていきます。